

ざっくらはらんわかばやし

創刊号

若林地域生活支援ネットワーク会議は、しょうがい者支援に関わる施設や事業所、学校や地域のサポーターとして頑張っている人たちの「顔の見える関係づくり」、「問題・悩みを地域の課題として共有し合える場づくり」、「課題解決に向けたネットワークづくり」を目的に開催しています。

平成19年度第2回若林区地域生活支援ネットワーク会議報告

日時 平成20年2月28日（木）14:30～16:30

場所 若林区中央市民センターセミナー室

内容 ・区内新規事業所紹介 ・事例検討会 「現場の職場から～今、抱えている課題など～」

参加人数 56名（37事業所）

事例検討会では身体、知的、精神、高齢の事例についてグループで話し合いをしました。時間が十分とはいえませんでした。しょうがいの枠を超えた話し合いができ、アンケートでも、全体的に「良かった」との結果で、「地域の情報を得るいい機会だった。」「有意義だった。」「少人数の方が良い。」「時間がもっと長いと良い。」等たくさんのご意見をいただきました。今後に活かしていこうと思います。

～～ 分科会報告 ～～ *（ ）は事例提供者

高齢部門（五橋地域包括支援センター 島田氏）

しょうがいをお持ちの息子さんを支えながら生活している高齢の両親とその息子さんに対し、支援者としてどのようなお手伝い出来るかを話し合いました。ご家族の中で、いちばん困っているのは誰なのか、また、ニーズはどこにあるのかなど、家族の思いを引き出すのは身近にいる支援者の役割であり何でも話し合える関係作りが大切。そして、高齢者・しょうがい者の枠にとらわれない支援者のチーム作りと連携が大切ではないかとの話になり、今まで以上に“顔の見えるネットワークづくり”を意識しようということになりました。

まとめ 樋口

知的部門（ここねっと発達支援センター 西田氏）

通所施設、相談機関、養護学校、ヘルパー事業所、地域包括支援センター（息子さんが知的しょうがいを持っているケースもあるとのこと）の職員など約15名でグループワークを行いました。高機能広汎性発達障害の成人のケースであり、本人には就労、家族と離れた生活、余暇などの希望があるが、こだわりなどの特性があり、日常生活に困難をきたしている方でした。

それぞれが抱えているケース例などから、全員が積極的に想いや経験を話し、随時意見が飛びかかっていました。今回一つのケースを色々な事業所、年齢の人たちが話し合ったことで様々な意見が出てきました。自分たちの抱えているケースで困ったケースだけではなく、ちょっとした分からない事も今回のようなネットワークで事業所をこえて気軽に相談できたり、話し合っていければよいと感じた人も多かったようです。

まとめ 檜山

身体部門（訪問介護事業所かいごや 近藤氏）

事例は、長男と二人暮らしの本人という家族構成。今後も二人での在宅生活を希望するも、長男は就職せず経済的自立ができていないという状況でした。このような状況で本人のみの支援というよりも息子を含めた支援と言う視点で話し合われました。本人の生活力向上を目的としたヘルパーを含めた効果的な社会資源の利用が必要であるとのことから、具体的には本人に対する自立訓練事業の利用や息子に対する学生ボランティアの調整等様々な意見が出され、有意義な話し合いとなりました。 まとめ 丸山

精神部門（指定障害者福祉サービス事業所 諸橋氏）

精神保健福祉手帳は取得しているが、複数の医療機関での診断に違いがあるケース。本人を取り巻く家族を含めた支援者側の思い、対応の困難さ、関係機関との連携の難しさ、手法の多様性、可能性などを本人の日常の様子を交えながら紹介してくださいました。多くの方にご参加いただき、端から端まで声が届きにくい点などありましたが、また機会があれば参加したいとの声があがっていました。 まとめ 鴻野

平成20年度若林区地域生活支援ネットワーク会議 開催予定表

平成 20 年度 スローガン

語ろう！創ろう！コミュニティ ～いくつになっても安心して暮らせる地域づくり～

1. 若林区地域生活支援ネットワーク社会資源情報綴りの作成

平成 19 年度作成に引き続き、新規事業所の追加、施設形態・内容の変更に伴う差し替えなど、より新しいものを作り、資源を知り、活用できるものを目指します。

2. 全体会議の開催【年3回／7・11・2月】

新規事業所の紹介や、目まぐるしく変わる地域や福祉の情報を共有し、話し合う場です。情報交換や、業務の振り返り、ちょっとした悩みの解消など身近な仲間と出会える場です。

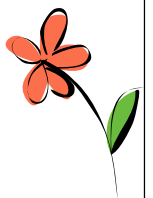
3. 勉強会の開催【年4回／9・10・12・1月】

参加者の興味に合わせて、より深く考えたい問題や、学びたい事を勉強する場です。参加者がより積極的に開催、参加できる場です。

4. ニュースレター「ざっくらはらんわかばやし」の発行

全体会や勉強会の報告、開催予定など、情報をより多くの方に発信していくものです。

*** どの活動についても随時ご意見をうかがいながら進めてまいりたいと考えております。参加して下さる皆さんにとって有意義な時間・内容となるよう工夫していきたいと思っておりますのでご協力をお願いいたします。**



発行者：若林区地域生活支援ネットワーク会議 事務局

佐藤	(若林区役所障害高齢課	282-1111)	／山口・檜山	(ピボット若林	282-4671)
伊師・吉田	(若林区社会福祉協議会	282-7995)	／樋口	(ぴあら若林	282-5188)
鴻野・森	(ほわっと・わたげ	285-3531)	／丸山	(ハンズ太白	308-8834)
伊藤	(てれんこ	716-8153)			